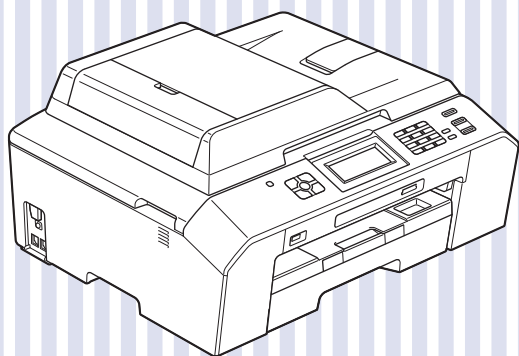
brother

JUSTIO 複合機

MFC-J5910CDW ユーザーズガイド －応用編－

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編 「こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー 検索

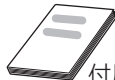
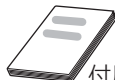
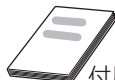
ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version 0 JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	 付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	 付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	 付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	 付属 CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた⇒ユーザーズガイド基本編「CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	
6. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式） ネットワークに関する基礎的な情報を記載しています。	
7. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式） Android や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	 サポートサイト http://solutions.brother.co.jp/
画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 7 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
確認	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

確認

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は､本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

第１章

お好みで設定する

お好みで設定してください

オプションサービス

画面の設定を変更する

お好みで設定してください

本製品の画面の設定を変更します。

画面設定を変更する

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

画面の設定画面が表示されます。

2 変更したい項目を選ぶ

- 【画面のコントラスト】
  画面のコントラストを調整します。
- 【画面の明るさ】
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

3 目的の設定を選ぶ

- 画面のコントラスト
  【▶】を押すと弱くなり、【◀】を押すと強くなります。
- 画面の明るさ
  【明るく／標準／暗く】から選びます。
  ⇒手順 5 へ
- 照明ダウンタイマー
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】から選びます。⇒手順 5 へ

4 【OK】を押す

5 停止/終了 を押して設定を終了する

ファクスモードに戻る時間を設定する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【モードタイマー】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

モードタイマー設定画面が表示されます。

2 ファクスモードに戻る時間を選ぶ

【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

【0 秒】を選んだ場合は、各モードでの操作が完了すると、すぐにファクスモードに戻ります。

設定が有効になります。

3 停止/終了を押して設定を終了する

ファクス自動再ダイヤル有無を設定する

相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ファクス自動再ダイヤル】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

ファクス自動再ダイヤル設定画面が表示されます。

2 【する】または【しない】を選ぶ

- 【する】：
相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、自動で再ダイヤルを行います。
- 【しない】：
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。

設定が有効になります。

3 停止/終了を押して設定を終了する

セキュリティ機能ロックを設定する

ユーザーの名前とパスワードを登録することで、利用できる機能をユーザーごとに制限できます。
以下の機能を制限できます。

- PC プリント
- デジカメプリント
- コピー
- カラープリント
- 枚数制限
- ファクス送信
- ファクス受信
- スキャン

確認

■ パスワードを忘れた場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

- 管理者だけが各ユーザーの機能ロックの On/Off、制限管理、変更を行えます。設定または変更するには、管理者パスワードが必要です。
- 個別に設定されていない一般ユーザー用に機能をロックすることもできます。(一般モード)
- セキュリティ機能ロックが On の場合でも、【ファクス画質 / 原稿濃度 / 同報送信 / タイマー送信 / とりまとめ送信 / リアルタイム送信 / 海外送信モード / ポーリング送信（ファクス送信とファクス受信の両方を有効にしているときのみ)】は設定できます。ただし、ファクス送信が制限されている場合は、すべてのファクス設定がロックされます。
- ポーリング受信を有効にするには、ファクス送信とファクス受信の両方を有効にする必要があります。
- ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、受信ファクスはメモリーに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

セキュリティ機能ロックを利用するために、設定画面をウェブブラウザーで表示させます。

確認

■ ここで設定するパスワードは、本製品の設定画面を表示するためのものです。セキュリティ機能ロックの管理者パスワードではありません。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

192.168.1.2 の場合は、「http://192.168.1.2/」と入力します。

3 ［ログイン］にパスワードを入力し、→ をクリックする

4 ［管理者設定］タブ－［セキュリティ機能ロック］をクリックする

セキュリティ機能ロックの設定画面が表示されます。

セキュリティ機能ロックの設定画面をはじめて表示したときは

パスワードを設定してください。

(1) ［パスワードを設定してください］をクリックする

(2) ［新しいパスワードの入力］にパスワードを入力する

32 文字まで入力できます。

(3) ［新しいパスワードの確認］に、パスワードをもう一度入力する

(4) ［OK］をクリックする

管理者パスワードを登録する

「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」（⇒ 8 ページ）で設定画面を表示したあと、管理者パスワードを登録します。
セキュリティ機能ロックは、パスワードを知る管理者だけが設定できます。
パスワードを変更することもできます。

1 本製品の設定画面を表示する

⇒ 8 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 [セキュリティ機能ロック] の [オン] をクリックする

3 [新しいパスワードの入力] に、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力する

4 [新しいパスワードの確認] に、管理者パスワードをもう一度入力する

5 画面下部の [OK] をクリックし、管理者パスワードを登録する

管理者パスワードを変更する
(1) 手順 3、4 で、新しい管理者パスワードを入力する (2) 画面下部の [OK] をクリックする

ユーザーを登録する

ユーザーの名前とパスワードを設定して、利用できる機能をユーザーごとに制限します。
ユーザーは 10 人まで登録できます。

1 本製品の設定画面を表示する

⇒ 8 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 [セキュリティ機能ロック] の [オン] をクリックする

3 [制限 ID 番号 /ID 名] に、ユーザー名を入力する

7 文字まで入力できます。

4 [パスワード] に、パスワードを 4 桁の数字で入力する

> 他のユーザーと同じパスワードは設定できません。

5 制限したい機能のチェックを外す

印刷できるページ枚数を制限するには、[枚数制限] の [オン] にチェックを入れて、[Max.] に枚数を入力します。

6 画面下部の [OK] をクリックして登録を終了する

セキュリティ機能ロックを On/Off にする

セキュリティ機能ロックを On にする

セキュリティ機能ロックを On にすると、一般モードが有効になります。個別ユーザーの設定を有効にするには、⇒ 10 ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【セキュリティ 機能ロック】、【ロック Off ⇒ On】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す

セキュリティ機能ロックが On に設定されます。

セキュリティ機能ロックを Off にする

1 待ち受け画面の [一般モード] または [XXXXXX] を押す

×××は現在の個別ユーザーの登録名です。

2 【ロック On ⇒ Off】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す

セキュリティ機能ロックが Off に設定されます。

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックが On のときに、登録されている個別のユーザーが本製品を使用できるように切り替えます。

1 待ち受け画面の [一般モード] または [XXXXXX] を押す

×××は現在の個別ユーザーの登録名です。

2 【ユーザ切替】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 切り替えたいユーザを選ぶ

4 画面に表示されているテンキーで、ユーザーのパスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す

ユーザ 設定で許可された機能が使用できるようになります。

一般モードに戻るには、[XXXXXX] を押し、【一般モードへ切替】を押します。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する　オプションサービス

本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。本製品で利用できる機能は、以下のとおりです。

電話番号表示機能	名前表示機能	着信履歴機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。	電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。	ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にした場合、かかってきた電話番号を記録します。着信記録から電話帳に登録したり、着信履歴リストを印刷できます。

確認

- ■ 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】にしてください。
- ■ ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
- ■ 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ■ ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- ■ 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ■ ナンバー・ディスプレイは、複数台の装置に表示することはできません。外付け電話を接続して本製品でナンバー・ディスプレイを使用する場合は、外付け電話のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。ただし、本製品の設定により、外付け電話の番号表示を優先させることは可能です。
- ■ 外付け電話でナンバー・ディスプレイ機能を使用する場合、受信モードを【F/T= 自動切換え】に設定していると再呼出音が鳴り始めてからは、画面に番号表示されない可能性があります。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせてください。

2 設定項目を選ぶ

- 【あり】
  本製品の画面に相手の電話番号が表示されます。
- 【なし】
  ナンバー・ディスプレイ機能を使用しません。
- 【外付け電話優先】
  本製品と接続している電話機に相手の電話番号が表示されます。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

ネーム・ディスプレイサービスを利用する

ネーム・ディスプレイは NTT が行っているサービスです。本製品の電話帳に登録していなくても、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号が画面に表示されます。サービスの詳細については NTT（116：無料）にお問い合わせください。
ネーム・ディスプレイサービスを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。
⇒ 11 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

- ひかり電話では、ネーム・ディスプレイサービスを契約できません。
- お客様がご利用されている電話会社が NTT 東日本、NTT 西日本以外の場合は、ネーム・ディスプレイサービスを契約できません。付加サービスの詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- IP 電話（050 番号）への着信には「発信者名」を表示させることはできません。

かける人

❶ 相手の電話番号をダイヤル

❷ 発信者番号と「発信者名」を通知

受ける人

❸ 発信電話番号とともに「発信者名」を表示

電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話に出てもらえます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。費用はかかりません。

電話に出る前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに電話機に表示されるので、安心して電話に出ることができます。

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。

● 提供地域	● 発信者名を表示する通話	● 表示される文字
全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域） ※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。	NTT 東日本および NTT 西日本の加入電話回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。	10 文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

● 料金

月額使用料：住宅用、事務用とも 105 円（INS ネット 1500 については 1,050 円）
別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2011 年 5 月 1 日現在）

- 月額使用料
  加入電話、ライトプラン：420 円（住宅用）、1,260 円（事務用）
  INS ネット 64、INS ネット 64 ライト：630 円（住宅用）、1,890 円（事務用）
  INS ネット 1500：18,900 円
- 工事料：2,100 円

お申し込み・お問い合わせは

局番なしの「116：無料」

受付時間　9:00 ～ 21:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

第２章

ファクス

応用

通信管理

ファクスの便利な送りかた

応用

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

確認

■ ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 11 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 待ち受け画面の【履歴】、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

履歴 を押しても履歴を表示できます。

3 または を押す

4 ファクスを送る相手先を選ぶ

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は モノクロスタート を、カラーで送る場合は スタートカラー を押す

ファクスが送られます。

発信履歴や着信履歴を削除する

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 2、3 の操作を行う

(2) 削除する相手先を選ぶ

(3) 【設定】を押す

(4) 【消去】を押す
◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す
◆選んだ番号が消去されます。

(6) 停止/終了 を押す

相手先の受信音を確認してから送る

[手動送信]

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

確認

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 オンフック を押したあと、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、モノクロスタート または スタートカラー を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか？／送信／受信】と表示されます。⇒手順 5 へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

(1) **【送信中】表示中に 停止/終了 を押す**
◆【キャンセル／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**
◆ファクスの送信が中止されます。

時間を指定して送る

[タイマー送信]

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

確認

- タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【タイマー送信】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 【する】を押す

送信時刻を入力する画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

7 【⮌】を押す

8 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ（送信）】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿について、この手順を繰り返します。

10 【いいえ（送信）】または モノクロスタート を押して設定を終了する

読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

- 相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。
- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

同じ相手への原稿をまとめて送る

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

確認

- とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

1. **ファクス を押す**
2. **画面上の【設定変更】を押す**
3. **【とりまとめ送信】を押す**

   キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。
4. **【する】を押す**
5. **停止/終了 を押して設定を終了する**

原稿をすぐに送る

［リアルタイム送信］

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「変更した設定を保持する」

確認

- ■ リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。複数の相手先に1回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ■ ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- ■ リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【リアルタイム送信】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 【する】を押す

- 【する】：
  リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
  通常の送信で送ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

6 【⮌】を押す

7 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロ スタート を、カラーで送るときは スタート カラー を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

相手の操作で原稿を送る

［ポーリング送信］

本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクシミリはその原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

機密ポーリング送信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

確認

- 相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【ポーリング送信】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 【標準】または【機密】を選ぶ

6 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

7 モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ（送信）】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 9 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

9 【いいえ（送信）】または モノクロスタート を押す

原稿を読み取り、メモリーに蓄積します。

ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

ポーリング送信を解除したいときは、【メニュー】【ファクス】【通信待ち一覧】を押し、解除したいファクスを選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「送信待ちファクスを確認・解除する」

海外へ送る

［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 【する】を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

6 【⮌】を押す

7 相手先のファクス番号をダイヤルする

8 モノクロ スタート または スタート カラー を押す

ADF に原稿をセットしたときは、
モノクロ スタート を押した場合：原稿の読み取りが終わると、ファクスが送られます。
スタート カラー を押した場合：相手につながってから原稿を読み取り、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、
モノクロ スタート を押した場合：画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ（送信）】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ
スタート カラー を押した場合：画面に【カラーファクスを1枚のみ送信します　複数枚送信のときは［いいえ］を選びモノクロスタートを押してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。
カラーで送る場合⇒手順 10 へ
モノクロで送る場合⇒【いいえ】を押して手順 8 に戻ります。

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

10 モノクロで送るときは【いいえ（送信）】を、カラーで送るときは【はい（カラー送信）】を押す

ファクスが送られます。

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

[自動縮小]

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】を押す

- 【する】：
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

自動縮小を【する】に設定しても、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、複数枚の記録紙に分割して印刷されます。

本製品の操作で相手の原稿を受ける

［ポーリング受信］

本製品から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。（これを「ポーリング受信」といいます。）
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

機密ポーリング受信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

確認

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。（カラーでの受信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 ファクス を押す

2 画面上の【設定変更】を押す

3 【ポーリング受信】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

4 設定を選ぶ

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順 6 へ
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

5 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

6 相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート を押す

相手先のファクス番号を電話帳から選ぶこともできます。

ファクスを受信します。

本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。

ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に ＊トーン を入力してください。

タイマーポーリング受信をキャンセルするには、【メニュー】【ファクス】【通信待ち一覧】を押し、解除したい設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「送信待ちファクスを確認・解除する」

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。
順次ポーリングでは、1 回の操作で、複数の相手先のファクシミリにセットされた原稿を受けることができます。

1 ファクス を押す

2 画面上の【設定変更】を押す

3 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

4 【電話帳から選択】を押し、リストから相手先を選ぶ

> グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。⇒ 33 ページ「グループダイヤルを登録する」
>
> ※01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
> ※01 あ のときは五十音順に、
> ※01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

5 2 件目以降の相手先を選び、すべての相手先を選び終わったら、【OK】を押す

6 相手先を確認し、【OK】を押す

7 【ポーリング受信】を押す

8 設定を選ぶ

- 【標準】：
通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順 10 へ
- 【機密】：
パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
ポーリング受信を行いません。

9 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は 24 時間制で入力します。
午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

10 モノクロスタート を押す

ファクスを受信します。
すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリングレポート」が印刷されます。

順次ポーリング受信をやめるときは

(1) ダイヤル中に 停止/終了 を押す
◆現在受信中のジョブ（相手先のファクス番号が表示されます。）をキャンセルするか、順次ポーリングをキャンセルするかを選択する画面が表示されます。
※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(2) 目的のボタンを押す

(3) 【はい】を押す
※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する

［リモート受信］

親切受信の設定が【しない】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【する】にします。（お買い上げ時は【しない】に設定されています。）また、リモート起動番号を変更することもできます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【リモート受信】を順に押す

キーが表示されていないときは【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせてください。

2 【する】を押す

リモート起動番号が表示されます。

- リモート起動番号とは、本製品の外付け電話端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- リモート起動番号を変更するときは、ダイヤルボタンで下 2 桁を上書きします。
- リモート起動番号を変更するときは、1 桁目は「#」のままで、下 2 桁の数字部分を変更してください。3 桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

3 【OK】を押す

4 停止/終了 を押して設定を終了する

リモート受信の操作

1 着信音が鳴ったら本製品と接続している電話機の受話器をとる

2 本製品と接続している電話機の受話器を持ったまま、「#」「5」「1」を押す

「#51」は、リモート起動番号です。

3 約 5 秒後に、受話器を戻す

ファクスの受信が始まります。

確認

■ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン（プッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により、使用できないことがあります。

ファクスを転送する

［ファクス転送］

受信したファクスを別のファクシミリに転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

確認

- ■【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- ■【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- ■【ファクス転送】は、【メモリ保持のみ】、【PC ファクス受信】、【電話呼び出し】と同時に設定できません。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】、【ファクス転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、【OK】を押す

すでに転送先のファクス番号が登録されているときは、登録済みのファクス番号が表示されます。
転送先のファクス番号を変更する場合は ⌫ を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

3 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

4 停止/終了 を押して設定を終了する

転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に 5 分おきに 3 回まで再ダイヤルされます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

確認

■ カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
■【PC ファクス受信】は、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】と同時に設定できません。
■【PC ファクス受信】は Windows® でのみ使用できます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

3 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

確認

■ ネットワーク接続をしているときは、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

4 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】:
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】:
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」

手順 4 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか ? /はい/いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。

手順 4 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

通信状態を確かめる

通信管理

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

確認

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタート を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

4 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

出力間隔を変更する

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 印刷間隔を選ぶ

【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

A)【レポート出力しない /50 件ごと】を選んだ場合

(1) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

B)【6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと】を選んだ場合

(1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す

(2) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

C)【7 日ごと】を選んだ場合

(1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す

(2) 曜日を選ぶ

(3) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

確認

■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷する

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタートを押す

送信レポートが印刷されます。

4 印刷が終了したら、停止/終了を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 設定を選ぶ

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン＋イメージ】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ＋イメージ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

リアルタイム送信（⇒ 18 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

カラーで送信した場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

3 停止/終了を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

[着信履歴リスト]

着信履歴を印刷します。

確認

■ 着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタート を押す

着信履歴リストが印刷されます。

4 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

第３章

電話帳

電話帳を利用する

電話帳

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクシミリの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 29 ページ「着信履歴リストを印刷する」

確認

- ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 待ち受け画面の【履歴】、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

最新の履歴が表示されます。

履歴は最新の 30 件が記録されています。

履歴 を押しても履歴を表示できます。

2 または を押す

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

4 【設定】を押す

5 【電話帳登録】を押す

名前の画面が表示されます。

6 画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

7 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

8 番号が入力されていることを確認して、【OK】を押す

変更したい場合は、画面に表示されているテンキーで変更します。

9 画面に表示されているテンキーで、2つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す

2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

10 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す

短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

11 登録内容を確認し、【OK】を押す

12 停止/終了 を押す

選択した番号が電話帳に登録されます。

グループダイヤルを登録する

［グループ登録］

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ユーザーズガイド 基本編「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

確認

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳リストを印刷する」

1 待ち受け画面の【電話帳】、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳】を押す

画面上の【メニュー】、【ファクス】、【電話帳 / 短縮設定】の順に押しても登録できます。⇒手順 4 へ

2 【あいうえお順検索】または【番号順検索】を押す

3 【設定】を押す

4 【グループ登録】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

グループ名を入力する画面が表示されます。

5 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

6 画面に表示されているテンキーでグループ番号を入力し、【OK】を押す

グループ番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

7 グループに登録する相手先を選ぶ

¥01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
¥01 あ のときは五十音順に、
¥01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

8 登録する番号をすべて選んだら、【OK】を押す

9 登録内容を確認し、【OK】を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

10 停止/終了 を押す

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 4 で、【変更】を押す

(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ

(3) 【変更】を押す

(4) 追加 / 削除する相手先を選び、【OK】を押す

追加したい相手を押してチェックマークをつけます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。

(5) 【OK】を押す

◆変更内容が反映されます。

(6) 停止/終了 を押す

グループダイヤルを削除するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 4 で、【消去】を押す

(2) 削除するグループダイヤルを選び、【OK】を押す

【消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

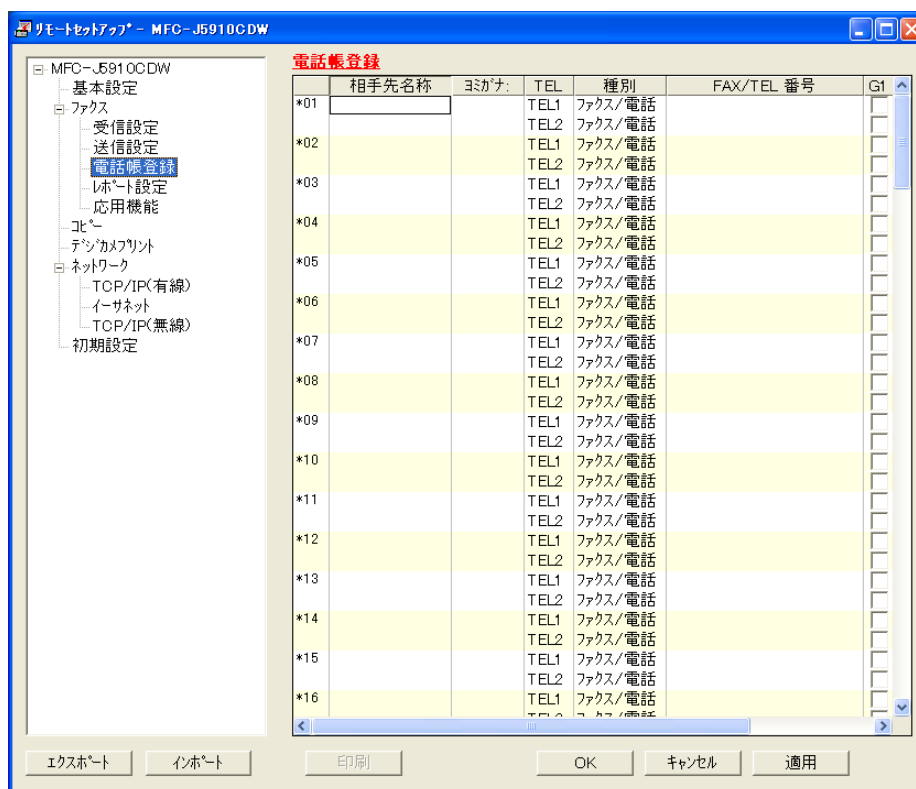
(4) 停止/終了 を押す

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは下記をご覧ください。

Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」

Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

リモートセットアップ画面例

第４章

転送・リモコン機能

リモコンアクセス

転送機能

外出先から本製品を操作する リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

確認

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す

「＊」の左側の 3 桁に、【0】 ～ 【9】、【＊】、【#】 からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

暗証番号「123」の場合は、【1】、【2】、【3】を押し、【OK】 を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 1 の操作を行う
(2) 【×】 を押す
(3) 【OK】 を押す
◆暗証番号が削除されます。
(4) 停止/終了 を押す

外出先から本製品を操作する

確認

■ リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
⇒ 38 ページ「暗証番号を設定する」

■ ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

外出先からの操作

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されているファクシミリ、またはトーン信号が送出できるファクシミリからダイヤルします。

2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
  ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
  ファクスメッセージが記憶されていません。
  その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順 3 に進みます。

3 リモコンコードを入力する

⇒ 40 ページ「リモコンコード」

外付け留守電モードに変更する場合は「9」「8」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「リモコンアクセスカード」

4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。

正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード

<table>
<tr><th>コード</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td colspan="3">設定</td></tr>
<tr><td>951</td><td colspan="2">【メモリ受信】を【オフ】にする。（電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます。）</td></tr>
<tr><td>952</td><td colspan="2">ファクス転送を設定する。（転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません。）</td></tr>
<tr><td>954</td><td>ファクス転送先を設定する。</td><td>「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。</td></tr>
<tr><td>956</td><td colspan="2">【メモリ受信】を有効にする。（【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります。）</td></tr>
<tr><td colspan="3">メモリー操作</td></tr>
<tr><td>962</td><td>メモリーに記憶されたファクスを取り出す。</td><td>「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く。</td></tr>
<tr><td>971</td><td>ファクスが記憶されているかを確認する。</td><td>記憶されているとき：「ピー」という音がする。
記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする。</td></tr>
<tr><td colspan="3">受信モード変更</td></tr>
<tr><td>981</td><td colspan="2">外付け留守電モードにする。</td></tr>
<tr><td>982</td><td colspan="2">自動切換えモードにする。</td></tr>
<tr><td>983</td><td colspan="2">ファクス専用モードにする。</td></tr>
<tr><td colspan="3">リモコンアクセスの終了</td></tr>
<tr><td>90</td><td colspan="2">リモコンアクセスを終了する。</td></tr>
</table>

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスをメモリーで受信する」

リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードを選ぶ」

- ファクス専用モードの場合
  応答後、約 4 秒間無音になるとき、またはファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- 自動切換えモードの場合
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
- 外付け留守電モードの場合
  本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。

※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

外出先に転送する

転送機能

ファクスが届いたことを電話で知らせる

【電話呼び出し】

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクシミリからリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒ 39 ページ「外出先からの操作」

確認

- 【電話呼び出し】は、【PC ファクス受信】、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】と同時に設定できません。
- 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
- 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
- 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更できません。
- 【電話呼び出し】を設定をしても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。
- NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープはかかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【電話呼び出し】を押す

すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。

電話番号を変更する場合は【⌫】を押していったん消去し、入力し直します。
⇒手順 3 へ
変更しない場合は【OK】を押します。
⇒手順 4 へ

3 画面に表示されているテンキーで呼び出し先の電話番号を入力し、【OK】を押す

4 【停止/終了】を押して設定を終了する

電話呼び出しを解除する

(1) 「ファクスが届いたことを電話で知らせる」の手順 2 で【オフ】を選ぶ

(2) 【停止/終了】を押す

◆電話呼び出しが解除されます。

第 5 章

コピー

応用

いろいろなコピー

応用

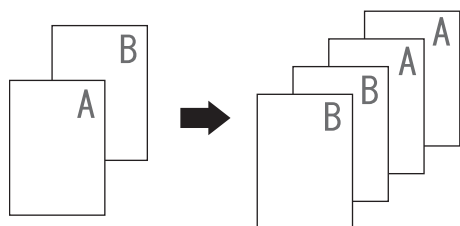
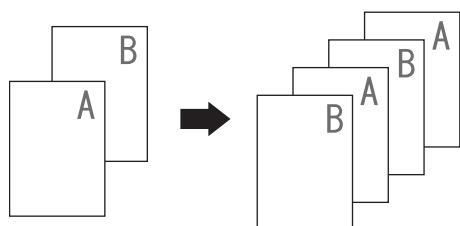
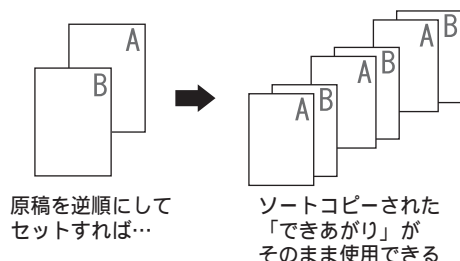
スタック / ソートコピーする

［スタック / ソートコピー］

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

確認

■【ソートコピー】は、【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウト コピー】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

- スタックコピー
  ページごとにまとめて排出します。

- ソートコピー
  一部ごとにまとめて排出します。

コピーは読み取った順に上向きで排出されるため、複数部のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。したがってソートコピー機能を使って大量の部数のコピーを作成するときは、できあがりを逆順に入れ替える手間を省くため、あらかじめ元になる原稿を逆順にしておくことをお勧めします。

1 （コピー）を押す

2 ADF に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF に原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、いったんコピーしたあと、残りの部数を再度設定してください。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選ぶ

7 モノクロでコピーするときは（モノクロ スタート）を、カラーでコピーするときは（カラー スタート）を押す

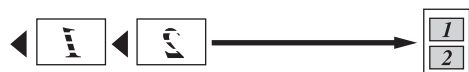
- 原稿の読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「画面にメッセージが表示されたときは」
- メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。
- スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

レイアウトコピーする

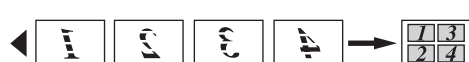
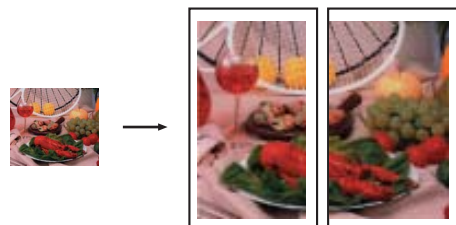
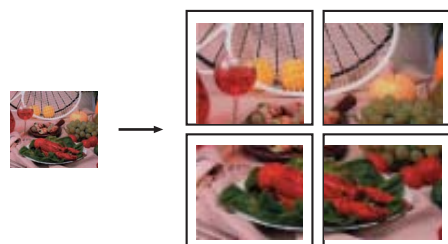
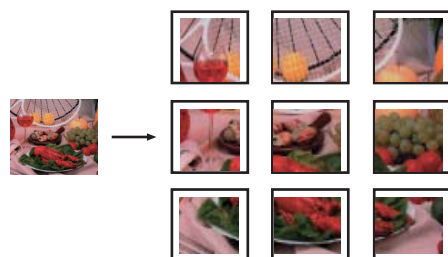
［レイアウトコピー］

複数の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- 2in1（タテ長）*1

- 2in1（ヨコ長）*1

- 2in1（ID カード）*1

- 4in1（タテ長）*1

- 4in1（ヨコ長）*1

- ポスター（2 x 1）*2

- ポスター（2 x 2）*2

- ポスター（3 x 3）*2

*1 カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。
*2 複数部数の指定はできません。

2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）/4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーします。

確認

- 2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）で使用できる記録紙は、A3、B4、A4 サイズのみです。
- 4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）で使用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

1 （コピー）を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

> 操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 レイアウトの種類を選ぶ

【2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】から選びます。

> コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

7 **モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー 押す**

ADF に原稿をセットしたときは、コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

原稿が 1 枚の場合⇒手順 9 へ

原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 **【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押す**

原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

9 **すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してコピーを終了する**

2in1(ID カード)

身分証明書など、カードサイズの原稿の両面を、1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーします。

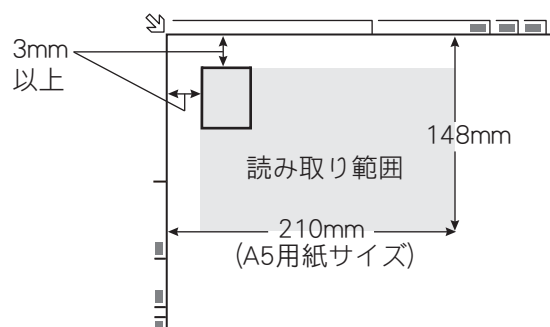
確認

- 使用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

1 **コピー を押す**

2 **原稿を原稿台ガラスにセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。

3 **【+】/【−】で部数を入力する**

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

> 操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 **画面上の【設定変更】を押す**

5 **【レイアウト コピー】を押す**

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

お好みで設定する ファクス 電話帳 転送・リモコン機能 コピー デジカメプリント 付録

6 【2in1（ID カード）】を押す

7 モノクロでコピーするときは［モノクロ スタート］を、カラーでコピーするときは［スタート カラー］を押す

画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

原稿が 1 枚の場合⇒【いいえ】を押すと、記録紙が排出されます。

原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】を押し、原稿をうら返してセットして【OK】を押す

ポスター（2 x 1）/ ポスター（2 x 2）/ ポスター（3 x 3）

原稿をポスターサイズに拡大し、複数の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーは、複数部数の指定はできません。

確認

- 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。
- ポスター（2 x 1）、ポスター（3 x 3）で使用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
- ポスター（2 x 2）で使用できる記録紙は、A3、B4、A4 サイズのみです。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。
- あらかじめ、分割される枚数以上の記録紙をセットしてください。

1 ［コピー］を押す

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 レイアウトの種類を選ぶ

【ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3)】から選びます。

6 モノクロでコピーするときは［モノクロ スタート］を、カラーでコピーするときは［スタート カラー］を押す

両面コピーする

[両面コピー]

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。原稿は ADF から送ることをお勧めします。原稿が冊子などの場合は原稿台ガラスを使用してください。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
長辺とじ原稿	1 2 → 1 2	1 2 → 1 2
短辺とじ原稿	1 2 → 1 2	1 2 → 1 2

確認

- 両面コピーで使用できる記録紙は、A3、B4、A4、A5、B5 サイズの普通紙のみです。
- 記録紙が A3 または B4 の場合は、【拡大 / 縮小】と同時に設定できません。
- 【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウト コピー】の【2in1 (ID カード) ／ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

1 （コピー）を押す

2 【+】/【−】で部数を入力する

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【両面コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 原稿のとじ方を選ぶ

【印刷の向き : 縦 長辺とじ／印刷の向き : 横 長辺とじ／印刷の向き : 縦 短辺とじ／印刷の向き : 横 短辺とじ】から選びます。

6 原稿をセットして、【OK】を押す

原稿が両面の場合は、片面ずつ順に原稿台にセットしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

確認

- ADF を使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください (ただし 1 回にセットできるのは 35 枚までです)。2 枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。

7 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート コピー】、【ソートコピー】を順に押す

8 モノクロでコピーするときは［モノクロ スタート］を、カラーでコピーするときは［カラー スタート］を押す

ADF に原稿をセットした場合：
操作は終了です。読み取りが開始されます。原稿 1 枚目を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、2 枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。3 枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは記録紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合：
画面に【次のページをセットしてスキャンボタンを押してください　全てのページが終わったら完了ボタンを押してください／スキャン／完了】と表示されます。
⇒手順 9 へ

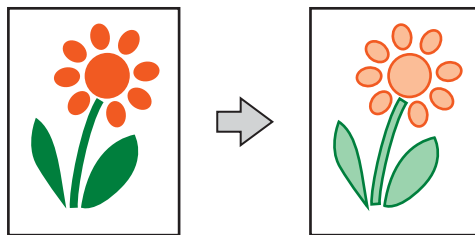
9 【スキャン】を押して次の原稿をセットし、【OK】を押す

手順 7 で、ソートコピーを選択した場合、3 枚目以降の原稿を読み取ることができます。手順 8 を繰り返し、すべての原稿を読み取ったら、【完了】を押してください。

> 両面コピーをすると紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときは、あんしん設定をお試しください。
> 手順 4 のあとで、【あんしん設定】を押して、【あんしん 1】または【あんしん 2】を選びます。
> 【あんしん 1】では、印刷速度を落とします。【あんしん 2】では、印刷速度を落とすのに加え、インク量を抑えます。そのため通常のコピーよりやや薄くなります。

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。

確認

- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- 【レイアウト コピー】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

> 「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。
>
>

1 ［コピー］を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

> 操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 モノクロでコピーするときは［モノクロ スタート］を、カラーでコピーするときは［カラー スタート］を押す

裏写りを軽減してコピーする

[裏写り除去コピー]

コピー時の裏写りを軽減します。

確認

■【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウト コピー】、【インク節約モード】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 コピー を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

ブックコピーする

[ブックコピー]

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。

確認

■【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【ソートコピー】、【レイアウト コピー】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】と同時に設定することはできません。

■ 原稿台ガラスに原稿をセットした場合にのみ有効です。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 コピー を押す

2 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

デジカメプリント

デジカメプリント

写真をプリントする

デジカメプリント

インデックスシートをプリントする

［インデックスプリント］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

確認

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

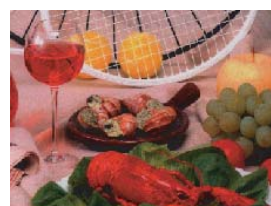
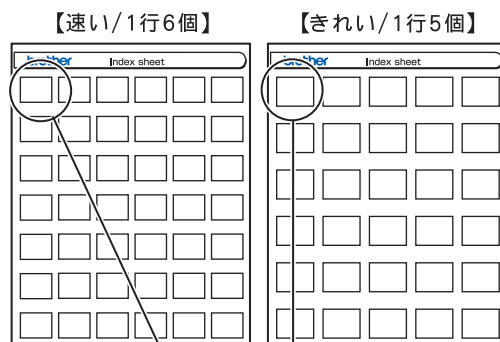
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】、【インデックスシート】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 インデックスのタイプを選ぶ

【速い /1 行 6 個】【きれい /1 行 5 個】から選びます。

画面上の【設定変更】を押すと、記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

4 スタート カラー を押す

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントされるのは JPEG（.JPG）形式の画像です。

番号を指定してプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】、【番号指定プリント】の順に押す

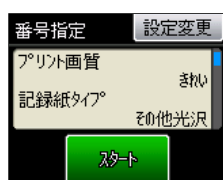
キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像の番号を入力し、【OK】を押す

例1：1～5番をプリントしたいとき
「1-5」と入力する
例2：1、3、5番をプリントしたいとき
「1,3,5」と入力する

> 区切り記号も含めて12文字まで入力できます。

4 もう一度【OK】を押す

5 画面で設定を確認する

> 画面上の【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

6 を押す

画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

[すべてプリント]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。

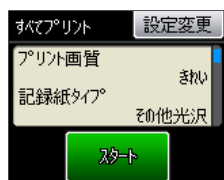
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【すべてプリント】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 画面で設定を確認する

画面上の【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

4 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

画像がプリントされます。

付録

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**

専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**

Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**

電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**

コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**

ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**

ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**

ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**

Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**

ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**

1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **とりまとめ送信**

メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**

受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● **プリンタードライバー**

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**

1 枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**

記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● ADF（自動原稿送り装置）

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

ふ

ほ

め

よ

り

れ